

社員インタビュー

2013

年入社
早川 拓巳 / 開発部Bテック 主任



他の会社とは違う
技術の可能性を感じた。

お客様が装置導入を検討するにあたり、処理品質を確認して頂くためお客様の製品をテスト処理する「サンプルテスト」を行っています。限られた時間の中で最適な仕様・条件を見つけ出すのは大変ですが、お客様が求めている以上の品質が得られたときに喜びを感じます。就職活動を始めてからマコーの存在を知り、マコーの社員が“オンリーワンのウェットブラスト技術”に誇りを持って仕事を行っていることを説明会で強く感じ、一緒に働きたいと思ったことが入社を決め手になりました。

2007

年入社
齋藤 文泰 / 技術部設計課 課長



ウェットブラストを
もっと有名にしたい。

主に自動車部品のプレス前処理(表面処理)装置の設計をしています。お客様が抱える問題に対して、どのようなウェットブラスト装置を創り上げるのが、“やりがい”“面白さ”であり、“大変”な所でもあります。完成した装置を見たお客様から“いいね”等と評価を頂いたとき、頑張って良かったと思えます。お客様の要望や問題を解決する為、より多くの知識や経験を得られるよう行動していきたいです。そして、もっと多くの人にウェットブラストという技術を知ってもらいたいと思います。

1994

年入社
土田 真伯 / 製造・技術・開発統括取締役 技術部長



マコーを利用して
食欲に成長してほしい。

マコーは中小企業ですが、お客様の多くは一部上場の大企業です。そんな大企業とも対等に議論し、最先端技術に触れて、装置と一緒に作り上げていく中で、自身の仕事が世の中の役に立っているということを実感できます。色々な事を吸収して、成長することができる環境がマコーにはありますが、本人が意識しなければ何も変わりません。向上心を持ち素直で前向きな人に、マコーに来てもらいたいですね。向上心を持ち、素直で前向きな人が活躍できる環境です。

8つの、
マコーらしさ。

日本唯一※のウェットブラスト装置専門メーカー
マコーが伝えたい「マコー」の8つのポイント。

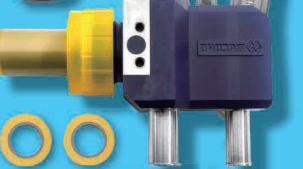
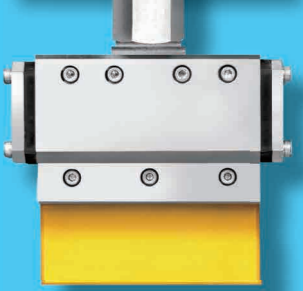
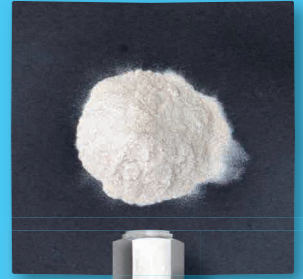
※自社調べ

マコーはウェットブラスト専門の研究開発型装置メーカーです。主に自動車、工具、半導体業界に多くの顧客を持ち、30余年にわたる研究・開発により蓄積された技術ノウハウ・設計開発力が最大の強みです。アメリカ・中国進出を皮切りに、世界に貢献するグローバルニッチトップを目指します。



Introduction of Macoho

MACOHO
BROCHURE



マコーは、ニッチで秘密で良い車に乗って、言われた通りに作りません。

- 2013.4 入社
- 2013.9 開発部配属
- 2013.11 立会に来たお客様に対して適切に事象を説明する立ち合いテスト
- 2014.9 自分がテストを担当した担当案件が装置化し、お客様に感謝の言葉を頂けてとても嬉しかった。
- 2017.9 組織編成が変わり、後輩社員の指導・教育をするようになった。先輩として責任を持って指導を行うように努めている。
- 2020.9.21 主任へ昇格

- 2007.3 入社
- 2007.9 技術部設計課配属
- 2014.1 装置仕様の計画に初期段階から関わるようになり、お客様との打合せも増えた。自身に求められている役割がより一層明確になってきた。
- 2014.9 現場へ配属されて様々な製造部製造技術課配属経験ができた。特に海外出張は大きな経験。
- 2015.9 技術部設計課配属
- 2016.9 特定の市場を任せられるようになった。自分だけでなくマコー社員とその家族の為に働いているという感覚が生まれた。
- 2019.9.21 技術部設計課 課長代理に昇格
- 2021.9.21 課長に就任

- 1994.4 入社
- 1994.9 技術部設計課配属
- 2005.9 部下2人がいるチームを技術部設計課主任に昇格。人に教えるという観点を持つ。
- 2011.9 この頃より、ゼロからモノを生み出せるようになってきた。仕事楽しくなってきた時期。
- 2014.9 技術部部長に昇格
- 2014.12 取締役(技術部長)に就任。取替役に就任したことに自分自身非常に驚いた。と同時に、すごく嬉しかった。この頃よりモノの考え方、考え方がどんどん変わってきた。
- 2016.9 取締役(サービス・製造部長)に就任
- 2019.9.21 製造・技術・開発統括取締役に就任

詳しい情報は、マコーの採用情報ページでもご提供しています。 www.macoho.co.jp/recruit/fresh.html

1

ニッチな技術で、国内シェアトップ。

※ QY Research 株式会社「Global Wet Blasting Machines Market Research Report 2018」より

マコーは日本唯一*のウェットブラスト装置専門メーカーで、同分野に関して国内では圧倒的なシェアを誇ります。例えば、ウェットブラスト・リン酸化処理装置による自動車の防振ゴム部品下地処理設備に関しては、国内シェアは90%以上。トラックなどの特殊車両を除いて、ほぼすべての国産車製造に当社装置が使用されています。

*自社調べ

2022年度売上実績



納入実績国

アメリカ/フランス/スペイン/ポランド/中国/韓国/台湾/マレーシア/フィリピン/ドイツ/シンガポール/タイ/イスラエル/インド/インドネシア/オランダ/メキシコ/ポルトガル/イタリア/ベトナム/ブラジル

2

表に出ない
大企業の秘密兵器。

当社取引先は、そのほぼすべてが国内国外有数の大手企業です。顧客との秘密保持契約を締結するケースが多く、事例を詳しく紹介することがなかなかできませんが、マコーは新製品の隠れたキーパーソンでもあるのです。



ウェットブラストとは？



ウェットブラストは加工技術の名前で、水と研磨材と圧縮空気を使った物理的な表面処理工法です。条件を変えることで幅広い用途に応用が可能であり、液体を用いるためコントロールが容易です。

ごめんなさい、言われた通りには作りません。

私たちは、顧客に言われた通りに作ることを目的とはしません。顧客にとって最も効果の高いものを作る、それがマコーのクラフトマンシップです。そんなマコーのものづくりに関わるプライドは、「クレド」という冊の基本的信念としてまとめられています。



3

良い車に乗ろう。 良い家を立てよう。

マコーは初任給の水準を高めに設定しています。また、昇給や昇進のための一次、二次に分かれた評価制度を整備。210段階の階級分けと中間・期末評価によって、全社員の成長と業績が毎年の昇給審査に反映される成果主義をモットーとしています。結果、年齢に関わらず実力のある若手は良い車に乗ってたりしますね。



2022年度実績
平均年収524万円
(平均年齢41歳)
※統計対象：正社員

5

女性が活躍する、
風通しのよさ。

全社員数のうち2割弱しかいない女性社員が皆イキイキと働き、時には男性に恐れられるほどの(!)パワーを持っていることも、マコーの特徴と言えるでしょう。年齢・性別を超えたマコーのチームワークが、他社にない特殊な装置づくりを実現させているのです。

働きやすい職場づくり

産休・育休後の女性エンジニアが活躍中/育児や介護による短時間勤務制度あり/ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)登録/妊婦とその夫を対象とした通院休暇も取得可能。



6

求めるものは主体性。 成果主義の社風です

マコーが求めるものは向上心や主体性です。プロとしての成果を出すことが何より重要な風土であり、成果によっては、高専卒で40歳取締役就任も。これもマコーらしさのひとつです。



8

仕事は大切。
でも休みも
とても大切。

社員が幸せに働けることがマコーの願いです。プライベートを充実させることで、より良い仕事に繋がってください。

2022年度実績

有休平均取得日数：10.4日/
1時間単位有休平均取得時間：7.9時間/女性の産休・育休取得後の復帰率：100%
/男性の育児休暇取得実績：3年間で7名/週1回のノー残業デー



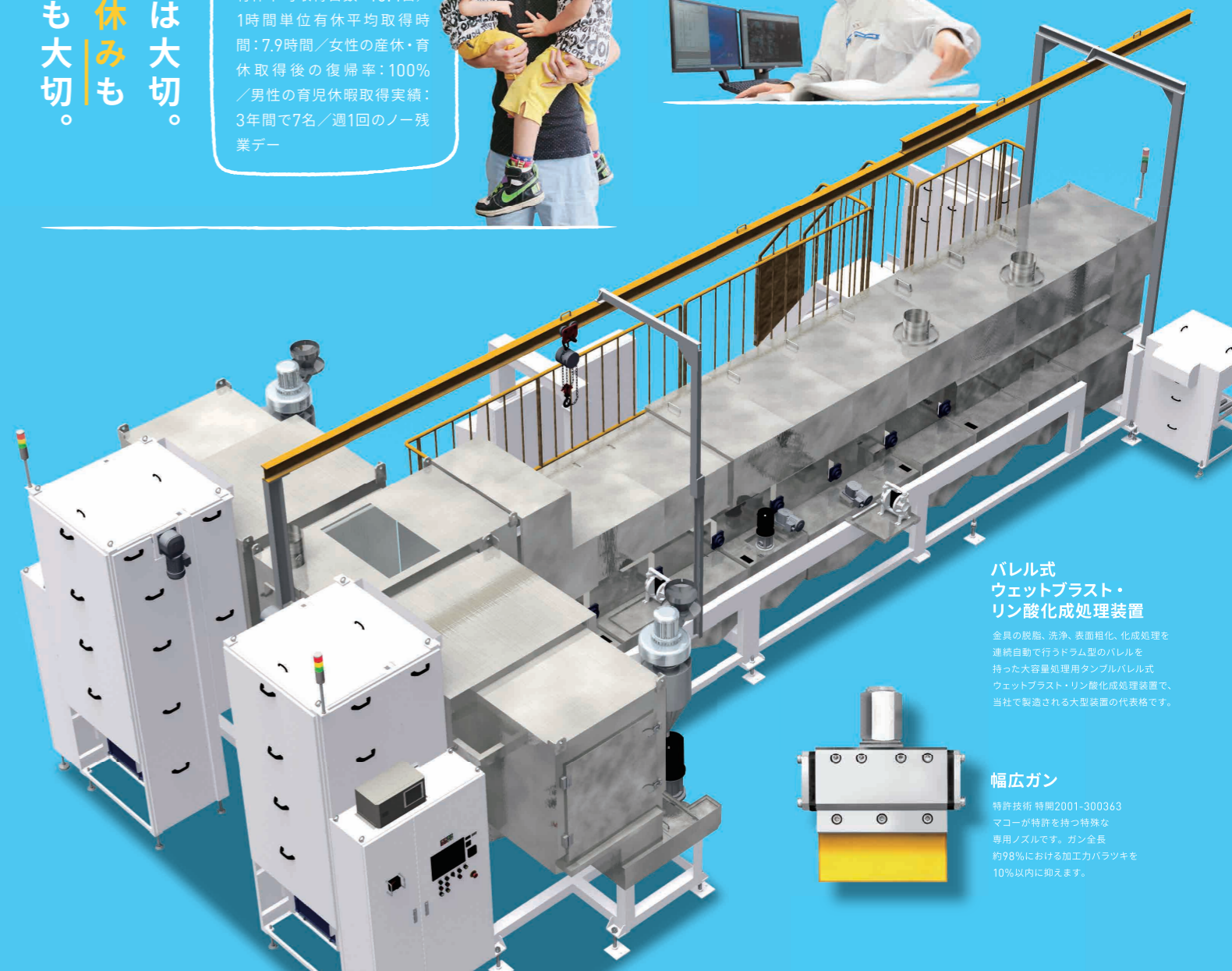
7

「どこにでも通用する」 そんな自分を作る場所。

マコーでは、主体性を持って自身で考え行動することが求められます。行動を起こすことで犯した失敗は咎めません。どんな環境にあっても自律し挑戦し勝負できる人材を育てることが、マコーの教育方針です。

教育制度「磨創人プログラム」

新入社員研修(約4ヶ月間)/全社員研修(年4回)/階層別教育/職種別の検定受験制度など。マコーの社員は、さまざまな教育の機会を利用して、ウェットブラストのプロフェッショナルとしてお客様の業績向上を実現するために、上限なきスキルアップを続けます。



バレル式 ウェットブラスト・ リン酸化処理装置

金具の脱脂、洗浄、表面粗化、化成処理を連続自動で行うドラム型のバレル式を持った大容量処理用タンブルバレル式ウェットブラスト・リン酸化処理装置で、当社で製造される大型装置の代表格です。

幅広ガン

特許技術 特開2001-300363
マコーが特許を持つ特異な専用ノズルです。ガン全長約98%における加工バラツキを10%以内に抑えます。